

様式1

令和5年度 学校評価表

学校教育目標	自分の力で考え、ともに伸びる ～ かしこく・やさしく・たくましく ～
--------	------------------------------------

a ミッション	中学校区で取り組む『志プロジェクト』の推進	a ビジョン	学んでよかった・通わせてよかったと思っていただける学校に
---------	-----------------------	--------	------------------------------

尾道市立西藤小学校

評価計画				自己評価					学校関係者評価			改善計画			
	b 中期経営目標	c 短期経営目標	d 目標達成のための方策	e 評価指標	f 目標値	7月	1月	h	i	j 結果と課題の説明	k 二次評価			l コメント	m 改善案
						g 達成値	g 達成値	達成度			イ	ロ	ハ		
確かな学力	か こ ろ こ ろ	基礎・基本の 確実な定着	個に応じた指導の充実 ・実態に応じた指導の工夫 ・間違い直しの徹底 主体的・対話的で深い学びの推進 ・授業改善、授業研究	・算数科の単元末テスト（思・判・表）の平均点が75点をこえる児童の割合 ・算数科の単元末テスト（知識技能）の平均点が60点以下の児童の割合 ・年2回以上、授業研究や授業交流をする。	70%	67%		96	B	・算数科の単元末テスト（思・判・表）の平均点が75点をこえる児童の割合は67%であった。また、算数科の単元末テスト（知識・技能）の平均点が60点以下の児童の割合は15%であった。これらの結果から、児童の基本的な学力の定着が不十分であることが分かり、発展的な問題に対応できない児童がいると考えられた。 ・教員での年2回以上の授業研究や授業交流は1学期計画通り実施することができた。	3			・基礎的な学力の定着については、個別指導等、対応していただきたい。 ・授業改善や個に応じた指導の充実などよく取り組まれているように思います。今後さらに75点をこえる児童を増やすことや60点以下の児童を減らすように継続した取組をお願いいたします。 ・授業や宿題でわからないことがあった時、児童が、先生に聞きやすいようにしていただけたらと思います。	・算数科の基礎的な学力の定着に向けて、児童が自立的に学習を進められるような取組を行う。 ①学習の導入で困り感を抱かせるような問題や生活に関連した問題を提示する。 ②自分の学びのベースに合わせた問題を選択させるなど、個別最適な学びを推進する。 ・スキルタイムの取組を継続して進め、計算や音読など学習に向かう基礎的な力を育成する。
豊かな心	『志プロジェクト』の推進 や こ ろ こ ろ	お互いの良さを認め合い、相手や時と場に応じた生活ができる児童の育成	声が掛け合える つながり作り ・挨拶運動 ・ありがとう・いいね箱 ・異学年交流	・月毎に設定する挨拶のレベルを80%以上達成した児童の割合	80%	62%		78	C	・地域の方（保護者の方）の協力を得て、あいさつ運動を行うことができた。 ・学級間であいさつの自己評価に差が見られた。児童の自己評価の在り方について教職員で研修を行い、学級での指導を行う。 ・縦割りの班掃除など、異学年交流の場が増えた。高学年はリーダーとしての自覚や行動が身に付いてきた。	3			・教職員の指導だけでなく、地域の方の協力なくては達成は困難であり、PTAから組織的に取り組んでいただきたい。 ・個人差はあるのですが、挨拶がよくなるようになっていっています。地域で「がんばったねカード」を渡す時、児童の挨拶がレベルアップするような声かけも必要と感じています。 ・縦割り班の行動が増えてリーダーの自覚が出てよいともありましたが、注意しても、下級生がなかなかきかないことがあるようです。それをリーダーが怒られるのは納得できない児童がいるようです。	・肯定的評価につなげるため、引き続き、地域の方に協力してもらい「あいさつ頑張っているねカード」の配布を行うとともに、教職員や児童間での「あいさつ頑張っているねカード」の配布を積極的に行っていく。 ・縦割りの班掃除や西藤っ子タイムなど、縦割りの班活動の際にふり返り活動を充実させることにより、異学年交流の質を高めていく。
健やかな体の育成	たくましく	健康でたくましい体の育成	楽しい体育授業の充実 ・楽しい運動方法の共有 ・授業改善	・アンケートで体を動かすことが楽しいと答える児童の割合	80%	87%		100	A	・リズムジャンプなどの楽しい準備運動を職員間で共有し、学年の実態に合わせて実施することができた。 ・運動会などの行事と授業を関連させて実施することにより、児童の運動に対する意欲が高まった。 ・体を動かすことが好きな児童の割合は目標値をクリアしているが、運動好きな児童を増やすための取組を2学期以降も行っていく。	3			・運動会を昇せていただいていた本年度は、児童の意欲が高まったと感じました。 ・運動会では、全力で取り組んでいて、一人一人が輝いて見えました。やり切ったという気持ちがさらに次の意欲につながったのではないかと感じました。これからも楽しいと思えるような運動を工夫され、実践されることにより体を動かすことが好きな児童の割合がもっと増えればいいと思います。	・休み時間の外遊びを推奨し、授業以外の場でも運動する時間を確保していく。 ・2月に行われる尾道市のなわとび記録会に向けて、縄跳びカードを活用し、11月から授業や休み時間などで継続的に取り組んでいく。 ・校内で長縄大会を実施し、児童の運動能力の向上を図っていく。

【自己評価 評価】
A：100≧（目標達成）
C：60≧（もう少し）<80

B：80≦（ほぼ達成）<100
D：（できていない）<60

【外部評価】 イ：自己評価は適正である。
ロ：自己評価は適正でない。 ハ：わからぬ。